

金時山（きんときやま）山行報告

1. 目的地：金時山（標高 1213m 神奈川県箱根町）
2. 日程&天候：2008年1月6日（日）快晴
3. 参加者：参加者13名（女性5名，男性8名）
4. 参加費：3,100円（往復350km ガソリン代，高速料金，温泉500円，車・運転謝礼，プール金）
5. コースタイム：
金時神社駐車場 ~ 乙女峠 ~ 長尾山 ~ 金時山 ~ 金時神社駐車場
8:05発 9:15~9:25 10:40~12:15 13:45着

6. 歩行：レベル 登山初級(B)，標高差 約550m

7. 山行状況：過去の山行報告や会員歴の長い方の話を総合すると、金時山の企画は今回で4回目らしい。それでも13名もの参加者があるのは、やはり金時山は人気のある山といえる。Yさんは当クラブが出来て間もないころの初回の金時山企画に参加したそうです。今回はこの1年くらいの間に入会された参加者も多く、同じ山でも参加者の顔ぶれが変わっていくのは、この会の歴史を感じさせます。さて、この日は快晴の天気予報で、雨の心配は全くなし。お目当ての富士山が眺められるのも間違いなし。金時神社の駐車場はほぼ満杯で2台の車をとめるのがやっとでした。駐車場にはトイレあり。駐車場から車道を少し歩いてから、乙女峠までの登りにかかる。この登りは結構きつい。乙女峠に着くと、真正面に富士山が顔を出す。この峠は木立に囲まれているが、富士山を背景にいい写真がとれるようにと、カメラを構える方のやぐらと、写真を撮られる方のやぐらが別々に組まれているのが面白い。乙女峠は、親孝行娘の伝説で、その名がついたらしい。峠から、ゆっくり登ると長尾山に着く。頂上は広いが眺めはよくない。長尾山から少し下って、上り返すと、あっさり金時山に着いてしまう。金時山の頂上は、富士山が頂上から裾野まで丸見えで、まさに富士山の展望台といったところ。富士山の右には南アルプスの北岳が真っ白い姿をみせている。今年は北岳に登るのが目標というSさん。目標がかなうといいですね。昼食は、頂上のほぼ真ん中に陣取ってのご開帳。富士山をまん前に眺めながら、すいとん、ラーメンなどのメニューが次々と出てきて、自分のおにぎりも食べないうちにもう満腹。下山路には、金時宿り石など、足柄山の金太郎にまつわる大きな岩がいくつかありました。帰りに入ったごてんば市温泉会館は、湯ぶねにつかりながら真正面に富士山を眺められます。湯ぶねの富士山側は全面ガラス張りで、銭湯の富士山の絵を現物で見ている感じでした。



金時山頂上



金時神社の石のまさかり